

火災の延焼拡大を防止

迅速な初期消火により

## 消防業務協力者表彰



協力者 小河孝輔 様



協力者 安藤康晴 様

### 消防業務協力者表彰式を執り行いました

令和7年2月に甲賀市信楽町長野地先で発生した建物火災において、火災の知らせを受けた小河様と安藤様の2名は、火災が発生している木造住宅に屋内進入し、燃焼している石油ストーブ、座布団等の初期消火を実施、さらに石油ストーブ、座布団を屋外に搬出し、火災の被害を最小限に留めました。現場は、木造建物が密集しており、初期消火が遅れていれば付近建物へ延焼し、被害が大きくなっていたと推測されます。

今回、火災の延焼拡大を未然に防いだ功績を称え、令和7年3月13日、消防業務協力者表彰式を執り行い、信楽消防署長から小河様と安藤様に対し、改めて感謝の意が述べられるとともに感謝状及び記念品が授与されました。

小河様、安藤様、この度は迅速な初期消火活動を実施していただき、誠にありがとうございました。

市民の皆様も火災を発見されたときは、直ちに119番通報をしていただくとともに可能な限り初期消火をしていただきますようよろしくお願いいたします。



# 水口消防署 RESCUE VEHICLE UPDATE 救助工作車Ⅱ型更新



△新救助工作車を運用している水口消防署消防特別救助隊



△車両右側の積載状況 エンジンカッターや送排風機等の資機材を積載



△新救助工作車(左)と旧救助工作車(右)



△車両左側の積載状況 交通救助資機材やロープ等の資機材を積載

甲賀広域行政組合水口消防署に配備されていた旧救助工作車が更新時期を迎えたことを受け、新救助工作車に更新し、令和7年3月31日から運用を開始しました。

新救助工作車は、最新の機能や10種類以上の資機材を搭載しており、旧救助工作車の運用実態及び緊急消防援助隊登録車両としての活動を考慮した仕様となっています。

具体的には、車軸、フレームなどを強化した増トン仕様(11・99トン)を採用し、積載量を増加させました。この仕様により平時から旧救助工作車より多くの資機材を積載し、また、緊急消防援助隊出動時における防火衣などの隊員装備品、着替えなどの隊員物品に加え、水害で持参要望が多い救命ポット(約100キログラム)などを積載することが可能となりました。

また、ハイルーフ仕様を採用し、キャビン内の高さは180センチメートルを確保、車両後部座席上部の前後に収納スペースを設けることで、収納能力が格段に向上し、前述の緊急消防援助隊出動隊員の装備品や物品を隊員の座席空間を確保した上で収納することが可能となりました。

今回の新救助工作車への更新により、市民の皆様の消防に寄せる期待にさらに強く応えようと、激甚化、頻発化する多様な災害に対し、適切な消防活動の展開を図りたいと思います。

なお、旧救助工作車は、平成15年12月から管内の救助現場、火災現場などの活動のみならず、東日本大震災や平成30年豪雨といった大規模災害においても緊急消防援助隊として活動しました。21年以上もその役目を終えました。